

平成 28 年度

[学術賞候補]

候補者所属 東京大学大学院農学生命科学研究科

候補者氏名 溝口 勝

候補業績

農業農村工学における ICT の応用に関する一連の研究

[選考理由]

近年、ICT（情報通信技術）を用いたビッグデータの利活用が話題となっているが、農業や農地に密着したデータの集積や活用はいまだ限られているといえる。本業績は、農業農村工学における ICT 導入の先駆的研究であり、以下の点で評価できる。

- (1) ICT を農地のフィールド調査に適用し、世界中の遠隔地のデータをリアルタイムで大量に取得利用できる便利なシステムを構築した。
- (2) 農地の気象、放射線、土壌や水利情報などのデータを取得し、総合的に活用できるシステムを構築した。特に、土壌水分や放射線の土壌データに関して、詳細かつ正確な値を得るための工夫を加えた。
- (3) 可視化や使いやすさを追求し、研究のみならず、農作業の一部として農業従事者に利用できるように考案した。

一連の研究は、農業農村工学に関する学問の進歩に貢献した創意ある優秀な業績であると評価され、農業農村工学会学術賞を授賞するにふさわしいと考える。